

「社会保障・税一体改革」をやめさせ、応能負担で社会保障の拡充を！

ほっかいどうの社会保障

2012年5月10日

北海道社会保障推進協議会

Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

私たちが望む新法の実現をめざして！障道協の学習会に100名参加

4月29日「障害者総合支援法の課題と障害者自立支援法訴訟のこれから」学習会



4月26日、民主党は障害者自立支援法廃止の約束を破り、自民・公明と共同して、応能負担を続ける「障害者総合支援法案」を衆議院本会議で可決させ、障害者を中心に怒りの声が上がっています。こうした中、障道協（障害者の生活と権利を守る北海道連絡会）が、4月29日（日）学習会「障害者総合支援法の課題と障害者自立支援法訴訟のこれから」を開催し約100人が参加しました。

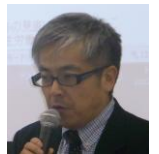


はじめに、旭川で行った障害者自立支援法裁判（元）弁護団の西村弁護士（左写真）から、「障害者自立支援法の意義とこれから」と題して講演があり、元原告の聴覚障害、知的障害、自閉症を持つ川村俊介さんと母親の和恵さんから「思いと決意」も述べられました。

提訴時や裁判和解時のテレビ報道が映写されました。西村氏は「自立支援法ができ自殺や殺人がたくさん生まれ、裁判の必要性を感じその呼びかけに川村さんが応えてくれて始めた」と切りだし、国の「知的障害者は裁判できない」との主張も乗り越えて、憲法13条や25条などを根拠に裁判を起こした経過や民主党政権が謝罪し当事者も入れて新法を作ることになり和解したことを説明し、それを無視した新法の動きを批判しました。俊介さんは手話で自己紹介し、和恵さんは「最近、俊介が新聞に障害者自立支援法の文字を見つけると切り抜く姿をみて成長を感じる」と話しました。



続いて、俊介さんが働く事業所を運営する「旭川あかしあ労働福祉センター」の理事長で、きょうされん広報・出版・情報委員長の北村典幸さん（右写真）が「世界に誇れる新法めざして」と題して、当事者が加わった新法作成の動きや今後の取り組みなどについて講演しました。



現在、法案は参議院に回りました。直ちに廃案にし、望む新法をつくる運動をひろがましよう。

消費税増税やめろ！社会保障の拡充を！

全道でメーデー行われる 札幌は5000人

5月1日は全道各地で、メーデー集会やパレード、学習会などが行われました。札幌では、「原発なくそう！」「消費税増税STOP」「社会保障の改悪ではなく、医療や介護、社会保障の拡充を」などの要求を掲げて、5000人が集まり、パレードをして、市民にも訴えました。写真は、パレードの様子です。繁華街のビジョンに、メーデー集会の様子が報道する映像が映っています。（実行委員長が挨拶の映像）



5月15～17日全国「餓死」「孤立死」問題調査の詳細決定！成功させましょう！

全国各地で孤立死が報道されています。札幌では、1月20日に白石区で姉妹孤立死事件が発覚しました。

全国「餓死」「孤立死」問題調査団は、5月15日～17日まで、右記の日程で札幌での調査等を行います。

15日の札幌市民集会では、「いま、貧困と生活保護はどうなっているのか？なぜ25年前と同じ悲劇が・・・」「事件の経過、問題点」の

二つの講演が行われます。たくさんの参加で成功させましょう。



15日(火)

全国調査 in 札幌・市民集会

(18時30分～北大学術交流会館)

【参加費無料】

16日(水)

白石区と懇談

(10時～)

生活保護利用者と懇談(13:30～)

*生活保護緊急110番 (10時～16時)

TEL 0120-441-291

17日(木)

札幌市訪問 (10時～)

記者発表・提言発表